

被爆2世の木のストーリー

原子爆弾が投下され、放射能で「75年間は草木も生えないだろう」といわれました。熱線で焼け焦げた木から、再び葉が芽吹き、実をつけ種子を落す姿に、人々はどんなに勇気ももらったでしょう。今も広島、長崎で被爆した木が市民や樹木医に見守られながら大きく葉を茂らせ根を下ろしています。現在、広島、長崎では被爆した木々の記憶を伝えようと被爆樹木の種から苗木にし植樹する活動が広がって、本や絵本などでも紹介されています。



春・新芽が出たアオギリ



秋・青空に映える柿の木

アオギリ（広島の被爆樹木2世）

爆心地から約1,300mにあった中国郵政局の中庭に植えられていたもので、爆心地側の幹の半分以上が熱線と爆風により焼けて、えぐられてながらも生き延びました。現在は、広島平和記念公園内の平和記念資料館の脇に被爆の傷跡を包むようにして成長を続けています。

この世田谷公園のアオギリは、児童文学作家であった大川悦生氏が、広島で被爆したアオギリの種から、自宅で育てて苗木を植樹したものです。木肌が青緑色なのが特徴のアオギリ、公園の中でみつけてみてください。

柿の木（長崎の被爆樹木2世）

長崎爆心地から約900mの若草町で被爆し、10年以上経って、ようやく実をつけるようになった柿の木。その柿の木の種子を発芽させた苗木を植樹したものです。この苗木も大川悦生氏にアオギリと一緒に寄贈していただきました。

今では大きく成長し、秋には実をたわわに実らせ、葉も美しく紅葉します。



平和館にある被爆樹木関連の本



30cmも！

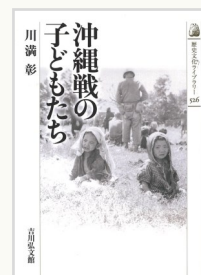


約15cm！

この夏読んでみてほしい本

「沖縄戦の子どもたち」 川満 彰 吉川弘文館

子どもたちが敵の攻撃で犠牲になる瞬間が、戦争の中で最も悲惨な情景の一つとして想起されます。しかし、島全体が戦場になり、その準備が繰り返されていた沖縄では、子どもたちはある日突然戦場に放り出されたわけではありませんでした。多くの子どもたちは戦場に動員され、攻撃にさらされやすくなり、または戦争を遂行する中で命を捨てざるをえない窮地に追い込まれました。子どもの体験を通して沖縄戦の実態を知るだけでなく、「戦争になったら子どもたちは最も脆弱な存在になる」ということを具体的に知り、考えさせられる一冊です。



「サザエさん① 長谷川町子全集Ⅰ」朝日新聞社

昭和21年4月～23年6月までの連載された漫画がもたっています。四コマ漫画にサザエさんが登場して、ユーモアとともに戦後の東京の風景や世相を知ることができます。例えば、男女同権討論会、満州からの引揚者、戦災孤児寄付金募集など。夏のひと時、80年前に戻ってみませんか。

今年、せたがや未来の平和館と川崎市平和館の相互連携が10周年を迎えました。その記念として、川崎市平和館で7月～8月に開催される沖縄戦下の子どもたちに関連する企画で、せたがや未来の平和館の専門員が展示に協力し、イベントに登壇します。詳しくは川崎市平和館のホームページをご覧ください。

せたがや未来の平和館

だより36号

（世田谷区立平和資料館）
令和8年7月発行／生活文化政策部人権・男女共同参画課 平和資料館

だより **夏** の特別号

ようこそ！夏の平和館へ！

世田谷公園にあるこの木は長崎で被爆した柿の木の2世の木です。
7月19日に被爆2世の木をモチーフに平和の絵葉書をつくるワークショップを開催します！

- 開館時間 午前9時 ～ 午後5時（入館は午後4時45分まで）
- 入館料 無 料
- 休 館 日 毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌平日）年末年始（12/29～1/3）
- 所 在 地 〒154-0001 東京都世田谷区池尻1-5-27 世田谷公園内（野球場となり）
- ☎ 03-3414-1530 FAX 03-3414-1532



せたがや未来の平和館のイベント

事前申込

開催場所：せたがや未来の平和館

申込方法：せたがやコール（☎03-5432-3333）または下記の二次元コード

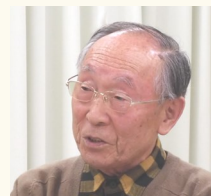
8/1(土)

14時～15時

東京大空襲を体験した持田さんのお話会

空襲で3歳の時に東京大空襲を体験し、妹を失い、自身も手に重い火傷を負った持田さん。戦災を乗り越えた幼少期や戦後の歩みをお話していただきます。

対象：どなたでも 定員：25名 締切：7月15日（抽選）



8/29(土)

14時～15時半

「鬼退治したくない桃太郎」を見て平和のアートをつくろう！

身近な人との意見の違い、対立やへだたりを感じたときどうしていますか？お互いがわかりあえる方法は？

「桃太郎」を題材にみんながハッピーになれる方法を考え、平和のアート作品を作ります。夏休みの宿題にもなりますよ！

対象：小学生 定員：15名 締切：8月5日（抽選）



9/12(土)

14時～16時

詩人・浅見洋子さんと詩を朗読する会

空襲によって人生に癒えない傷を負った人々の悲しみや願いを詩に紡いだ浅見洋子さんと一緒に、体験者の思いを感じ、今の私たちをつなぐ時間にしましょう。

対象：小学生以上 定員：12名 締切：8月15日（抽選）



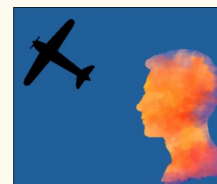
9/26(土)

14時～15時半

「空襲で見た他者の顔と私たち」ワークショップ

1945年5月の山の手空襲ときに、世田谷区内に一機のB29が墜落しました。米兵という敵の顔を初めて見た人々は何を思い、どう行動をとったのか。戦時中のエピソードから、演劇や紙芝居で表現し、様々な人々が共にいきている今の社会を考えてみましょう。

対象：どなたでも 定員：15名 締切：8月31日（抽選）



夏休み宿題大作戦！

事前申し込みはいりません

平和館の所蔵品を手にとって専門員と一緒に夏休みの宿題をしよう！
普段はケースに入ってさわれない実物資料をさわってじっくり見れるよ。
さわれる展示品：戦時中の絵本 戦時中の積木 戦時中のかるた など
開催日時：8月2日、9日、16日、23日、30日 各日曜日 午前9時～12時

企画展



●空襲被害とその影響を受けた人々―世田谷から考える―

7月25日(土)～9月30日(水)

空襲当時の体験だけでなく、平和と尊厳の回復を求めた被害者の方々の歩みを紹介します。

●下馬図書館連携企画

「賀川豊彦と世田谷郷―上北沢から世界平和を訴えた社会運動家による下馬での戦災者支援―」

10月10日(土)～11月3日(火・祝)

事前申し込みはいりません



毎月第3日曜日は 平和館の ピース3サンデーへ♪

申込不要

集合場所：せたがや未来の平和館

問合せ：せたがや未来の平和館 03-3414-1530



7/19(日)

14時～15時半

平和の絵葉書をつくろう―被爆二世の木からのメッセージ―

世田谷公園にある被爆二世の木に紙をのせクレヨンでそっとこすり、木の記憶を写します。そこからオリジナルの絵葉書をつくりまします。被爆樹木についても解説します。平和の大切さを感じる時間にしましょう。できた絵葉書は夏休みの宿題にもなるかも！



8/16(日)

14時～15時

平和と対話のゲームをしよう ―半径5メートルからの平和づくり―

多様性を体感できるボードゲームや、自分の気持ちにつながる「共感ランプ(NVC)」を使って遊ぼう！言葉にならないモヤモヤした気持ちも、ゲームを通じればきっと伝わります。初めて会う人とも、自然と笑顔になる「対話」の楽しさを体験しませんか？



9/20(日)

14時～15時半

被爆体験伝承者のお話

被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への思い、被爆の実相(戦時下の人々の暮らし、原爆被害の概要等)や伝承者としての平和への思いをお話します。

3歳の時に広島で母と一緒に被爆し、母子で闇市に住みこむなどして戦後を生き抜き、広島被団協でも活動した清水弘士さんのお話を引き継ぐ伝承者がお話します。先着25名(直接会場へお越し下さい)

10/18(日)

14時～14時半

世田谷郷の暮らしをテーマにしたオリジナル紙芝居の上演

(下馬図書館連携「賀川豊彦と世田谷郷」パネル展示関連企画)

世田谷郷の時代を知る地域の方々へのインタビューを基に、学生ボランティアが制作した紙芝居を中心にしたお話会(2026年4月開催の「極楽フェス」で制作・発表された紙芝居) 先着15名(直接会場へお越しください)

11/15(日)

14時～15時半

南方抑留者の短歌をかるたにした学生さんたちとかるたであそぼう！

大学生と一緒に戦争カルタで遊んでみませんか？一枚一枚に込められた想いや歴史にふれながら、遊びを通して平和について考えましょう♪



12/20(日)

14時～15時半

焚火と音楽交流会

世田谷プレーパークで焚火しながら、平和を考えたり感じる音楽を持ち寄って、語り合ったり、歌ったり、演奏したりしましょう。

焚火にあたるだけでもOK！楽器持込も歓迎です！



2027年1月17日(日)は、世田谷プレーパークと焚火ですいとん作りを予定しています！